2022 年 2 月 24 日 毎日新聞朝刊 2 面

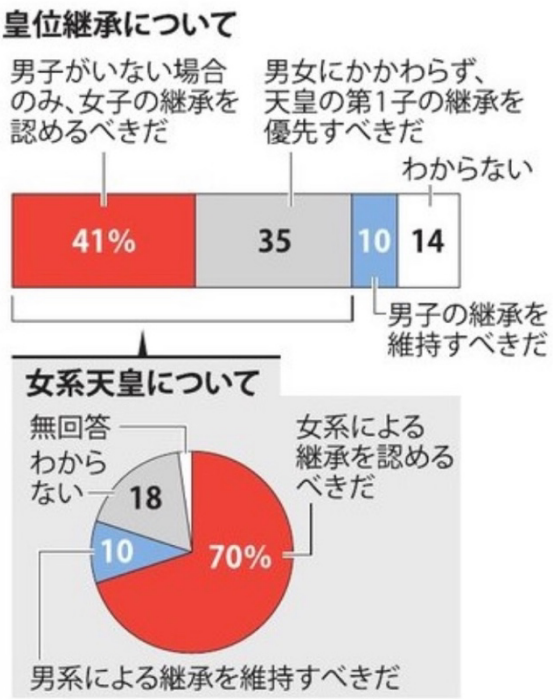
女性天皇容認 7割超

本社・埼玉大調査「女系」も5割

毎日新聞社は昨年11月から今年1月にかけて、埼玉大社会調査研究センター（松本正生シニア・コーディネーター）と共同で、時事問題に関する世論調査「日本の世論2021」を実施した。天皇の皇位継承について「男子がいない場合のみ、女子の継承を認めるべきだ」（41％）と「男女にかかわらず、天皇の第1子の継承を優先すべきだ」（35％）を合わせて回答者の7割超が女性天皇を容認。「男子の継承を維持すべきだ」は10％にとどまった。

現行制度では、父方が天皇の血筋である「男系」の男子のみが皇位を継承できる。女性の回答に限ると「第1子」の38％と「男子がいない場合のみ女子」の37％が拮抗（きっこう）。年代別では「第1子」との回答が18～29歳で43％だったのに対し、60歳以上では「男子がいない場合のみ女子」が4割を超えた。

女子が天皇に即位し、その子が皇位を継承すると、母方が天皇の血筋である「女系」の天皇となる。女性天皇容認の回答者に女系天皇について尋ねたところ「女系による継承を認めるべきだ」が70％を占め、「男系による継承を維持すべきだ」は10％だった。女系容認派は回答者全体の52％に当たる。

調査は全国240地点の選挙人名簿から無作為に抽出した2400人を対象に郵送法で実施し、1315人から有効回答を得た。

【伊藤奈々恵】